



# 神奈川東ロータリークラブ

## KANAGAWA EAST ROTARY CLUB

DISTRICT 2590/CHARTERED MAY 29-1976/WEEKLY BULLETIN

2011-2012年度 R I 会長 カルヤン・パネルジー



こころの中を見つめよう 博愛を広げるために

2011-2012年度 第2590地区ガバナー 上澤摩壽雄

- |           |       |           |        |
|-----------|-------|-----------|--------|
| ● 会長      | 加藤 仁昭 | ● 会長エレクト  | 飯田 泰之  |
| ● 副会長     | 伊東 英紀 | ● 副会長     | 山本 登   |
| ● 幹事      | 天野 公史 | ● 副幹事     | 西山 潔   |
| ● 会計      | 朝日 達夫 | ● 副会計     | 田口 健太郎 |
| ● S A A   | 山本 芳弘 | ● 副 S A A | 吉田 隆男  |
| ● 副 S A A | 横溝 亘  | ● クラブ会報   | 小山市 康  |

●クラブテーマ「感謝・継承・進化」●



写真提供 小池将夫会員

- 事務局** ホテルキャメロットジャパン内 〒220-0004 横浜市西区北幸 1-11-3  
TEL : 045-314-3900 FAX : 045-314-3555
- 例会日** 毎週金曜日 0 : 30 ~ 1 : 30 PM (第5金曜日 6 : 00 PM)
- 例会場** ホテルキャメロットジャパン **創立記念日** 昭和 51 年 5 月 29 日
- URL** <http://www.kanagawahigashi.com/>
- E-mail** kerc@beach.ocn.ne.jp

2011-2012年度 第26週報 No. 1725 2012年(平成24年) 1月20日 第1725回例会記録 1月30日発行

**司会** 西山 潔 副幹事

**誕生日祝** 白井 康夫 会員 (2月1日)

**点鐘** 加藤 仁昭 会長

**斉唱** 「それでこそロータリー」



**ロータリーの綱領** 河野 明光 ロータリー情報委員長 (第1例会のみ)

**四つのテスト** 植田 清司 職業奉仕委員長 (第1例会のみ)

**ゲスト紹介** 河野 隆 様 (ゲストスピーカー)

本日〈1月30日〉のプログラム

神奈川RC・神奈川東RC合同賀詞交歓会

## 結婚記念日祝

角田 伯雄 会員 (1月28日)  
高田 修 会員 (1月28日)



## 会長報告

加藤 仁昭 会長

- ・1月度定例理事会の報告
- ・「ロータリー希望の風奨学金」プログラム発足・開始の報告
- ・地区より2012年5月6日～9日に開催予定の第103回バンコク国際大会への登録人数の報告依頼と日本人親善朝食会の案内が来ております。出席を予定されている方は事務局までご報告願います。なお、登録料の第2次早期割引の締め切りは3月1日です。
- ・地区より、R財団管理委員会がRカードのロイヤリティ0.3%を東日本復興基金として使用する事を決定した旨、連絡がございました。Rカードの普及にご協力をお願い致します。
- ・米国サンディエゴで1月15日～21日まで開催されております国際協議会におきまして、田中作治RI会長エレクトより2012-13年度RIテーマが発表されました。(次頁参照)

## 幹事報告

天野 公史 幹事

- ・次週1月27日(金)は1月30日(月)の神奈川RCとの合同賀詞交歓会に移動例会となります。お間違えないようお願い致します。
- ・次々週2月3日、例会終了後に国際奉仕によるクラブフォーラムを開催致します。全員出席義務となっておりますので、参加の程よろしくお願い致します。
- ・2月4日は第4・第5グループのIMがございます。  
登録開始 12:30 点鐘 13:30  
場所 鶴見区民文化センター・サルビアホール

## 出席報告

金森 欣一 出席委員長

会員総数	56名	(40+16)名	
出席会員数	41名	(31+10)名	
出席率	82.00%		
ゲスト	1名	ビジター	0名
前回補正後	84.31%	前々回補正後	90.39%

## スマイルボックス

山本 芳弘 SAA

- 白井康夫君 今日はお誕生日祝いを頂き、ありがとうございます。
- 角田伯雄君 結婚記念日祝い、ありがとうございます。
- 友添辰哉君 結婚祝いを頂き、ありがとうございます。
- 加藤仁昭君 河野様、本日の卓話、よろしくお祈りします。
- 月山 勇君 山本先生、県よりの保健衛生表彰、おめでとうございます。益々の保健医療の向上と地域貢献を目指して下さい。ところで、風邪の方は良くなりましたか？菊名に良い病院があります。ご紹介しますが如何しましょう・・・か。
- 山本 登君 本日、所用にて早退致します。
- 河野明光君 この天気で出席するのは正直迷いましたが、当然出席です。
- 横山範夫君 山本芳弘さん、昨日はお世話になり、ありがとうございました。
- 伊東英紀君 河野隆先生、本日の卓話、楽しみにしています。
- 西山 潔君 脇田さん、先日は大変お世話になりました。
- 伊澤政宏君 川邊様、先日はお世話になりました。
- 山田正憲君 河野先生、本日の卓話、よろしくお祈りします。
- 脇田いすゞさん 今日寒いですが！冬らしいですね！
- 茂木知子さん 局部に注意！局部が体のいかなる部位かわかりませんが、男性が切り取られるという事件が発生しました。局部を不正使用している方は注意を要します。
- 横溝 亘君 カラカラ天気からようやく脱出です。でも、これからインフルエンザ本番ですから、十分気を付けて下さい。
- 山本芳弘君 横山さん、昨夜はありがとうございました。

1月20日	16件	35,000円
本年度累計		1,258,278円

## 卓話

### 「漢字の成り立ち」—人体に関する文字—

大東文化大学 文学部 書道学科 教授 河野 隆 様  
(紹介者 山田 正憲 会員)



漢字は中国の古代3500年～4000年位前に誕生しました。物の姿を象る“象形文字”から発し、複雑に発達して現在に至るまでその体系が受け継がれている表意文字です。

「日・月・山・川」などの“象形文字”は「上・下・本・末」などの“指事文字”に始まり、二つ以上のパーツを組み合わせて新しい意味を持った「友・並・射・歩」などの“会意文字”、「江・河・松・桃」などの音と義を組み合わせた“形声文字”へと発展します。さらに、既にある文字の新しい運用法として“転注文字”、“仮借文字”が挙げられます。

今回は、初期の段階で生まれた文字の中から『人体に関する文字』に的を絞って、「人・大・又・止」などから派生した20、30の身近な文字の成り立ちについて、わかりやすく解説していくつもりです。

私は文字学者ではありませんが、篆書という漢字の最も古い様式の字形を基にして、印面内に造形する＜篆刻＞を専門に制作し、研究しておりますので、古代文字への関心は非常に強いものがあり、ロマンを感じております。

数センチの方寸世界に造形のエッセンスを注ぎ込み、一刀一刀の動きによって独特の生命の躍動を表現しようとするのが＜篆刻＞です。

新春に開催される“現代書道二十人展”（朝日新聞社主催）や“日展”、“神奈川三十人展”（神奈川新聞社主催）などを主な舞台として作品を発表していますので、機会があれば是非ご鑑賞下さい。漢字世界の奥行きと広がり的一端を味わって頂けると幸いです。

私のもっとも尊敬する書家であり学者である西川寧先生の造語で「文字精霊」という四字句があります。古代の漢字は、人間の叡智の結晶であり、その造形には天地の精霊が宿るというものです。漢字文化の底深いエネルギーの源泉を表現した適語として紹介したいと思います。

ました。1975年に八潮ロータリー・クラブに入会後、収入や売上げを増やすことよりも、ほかの人の役に立つことが人生で最も大切だと思えるようになったと話します。「どんな些細なことでも、人を助けることがいずれば平和につながることに気づきました」

また、「個人のニーズより、社会のニーズを重視するのは、日本の文化と切り離せない伝統的な価値観」と語る田中会長エレクトは、この価値観が3月の東日本大震災後の復興努力にも見受けられる点に触れました。

「これは、日本以外の国々にとっても、良い教訓であると感じております。他者のニーズが、自分自身のニーズよりも大切だと思え、社会全体のための共通の目標に向かって力を合わせるができるようになれば、世界に対する見方、関わり方、価値観など、すべてが変わるようになります。そして何よりも、平和というものに対する考え方が変わります」

田中会長エレクトはまた、R I 戦略計画の3つの優先項目への支援、ならびに広島、ベルリン、ホノルルで開催される3回のロータリー平和フォーラムの推進にも協力するよう、ロータリーの次期リーダーに呼びかけました。

「ロータリーのビジネスは、利益の追求ではなく、平和の追求です。ですから私たちにとって、報酬はお金を手に入れることではなく、自分の努力によってより良い、より平和な世界が実現するのを見届けることにあります」

記事：Megan Ferringer, Arnold R. Grahl  
国際ロータリー・ニュース

#### 【2012-13年度 R I テーマ】

<英語>Peace Through Service

<日本語>奉仕を通じて平和を

## ロータリーニュース

### 2012-13年度の R I テーマは「奉仕を通じて平和を」

1月16日に行われた2012年国際協議会の開会本会議で、田中作次 R I 会長エレクトが次年度の R I テーマを発表し、「奉仕を通じて平和を」築いていくよう、ロータリーの次期地区ガバナーに呼びかけました。

「平和をどのように定義するにせよ、平和がロータリーにとって究極の、そして実現可能な目標であることをご理解ください。平和は、協定や、政府や、大胆な闘争だけで達成するものではなく、日常の簡単な方法の積み重ねによって成し遂げるものであります」

「平和」が何を意味しているかは、人によって違う、と会長エレクトは語ります。「どの定義が正しいとか、間違っているとかということではなく、自分にとって平和が意味すること、それがまさに平和なのです。どのような意味でこの言葉を使うにしても、ロータリーでそれを実現することができます」

ビジネスで活躍し、埼玉県に在住する田中会長エレクトは、ロータリアンとなったことで世界観が広がった自らの経験について語り





## 全世界のロータリークラブが2億ドルの 募金チャレンジの目標を達成

国際ロータリーは、ポリオ撲滅を目的としたビル・アンド・メリンダ・ゲイツ財団からの補助金に当たる「ロータリーの2億ドルのチャレンジ」の目標額2億ドルをついに達成しました。1月17日現在、募金総額は2億260万ドルとなっています。

ロータリー財団の管理委員を務めるジョン・F・ジャーム氏は、サンディエゴで開催中の国際協議会で、次のように述べました。「私たちは、今回の達成を祝うべきですが、これで募金やポリオへの認識向上運動を止めるわけではありません。全世界からポリオが根絶されるまでは、この活動を止めることはできません」

ビル・アンド・メリンダ・ゲイツ財団からロータリーに授与された3億5,500万ドルのチャレンジ補助金に当たるため、ロータリーは、独自に目標2億ドルを集める募金キャンペーンを展開してきました。

ポリオはワクチンで予防が可能であるにもかかわらず、現在も子どもたちがポリオに感染している国があります。集められた資金は全額、感染者が出ているこれらの国での予防接種の支援に充てられます。

目標達成のニュースに続き、ゲイツ財団の最高執行責任者であるジェフ・レイクス氏が、新たな追加補助金をロータリーに授与することを国際協議会で発表しました。「今回のロータリーの素晴らしい達成を称えるとともに、皆さまのさらなるご健闘を願い、当財団は、さらに5千万ドルの追加補助金を授与することを決定しました。これにより、私たちのパートナーシップがさらに発展することを願っています」

さらに、レイクス氏は次のように続けました。「世界からポリオを撲滅する活動は、ロータリーが始めたものであり、これからも、民間による募金や草の根の参加を促し、ポリオ撲滅を各国政府の優先項目として掲げてもらうために、ロータリーが中心的な役割を果たしていくでしょう」

ゲイツ財団からの5,000万ドルの新たな補助金は、ロータリーからの上乗せ寄付を条件とするものではありません。

1988年以来、ポリオの発症数は99%減少し、年間35万件だった当初と比べ、2011年にはわずか650件となりました。現在、野生ポリオウイルスは、4カ国（アフガニスタン、インド、ナイジェリア、パキスタン）のみに常在しています。このうち、インドでは、1月13日までの1年間、ポリオ無発症の状態を維持しており、常在国のリストから外される可能性が高くなっています。

しかし、上記以外の国々でも、常在国からのウイルス流入による感染の危険が今なお続いています。アフリカ大陸では、2011年にチャドとコンゴ民主共和国でポリオが流行しました。また、同じく2011年、中国で10年ぶりに、少数ながらポリオの新たな感染者が確認され、このウイルスがパキスタンから流出したものであることが分かっています。

ロータリー会員は、ゲイツ財団からのチャレンジ補助金に応じて、自ら寄付をしたほか、それぞれの地元地域で工夫をこらした募金活動を行いました。これには、52,000ドルを集めたチャリティー・ファッションショー（カリフォルニア）や、54,000ドルを

集めた映画上映会（ニュージーランドとオーストラリア）、38,000ドルを集めたキリマンジャロへの登頂チャレンジ（タンザニア）などがあり、イベントの多くは、10月24日の世界ポリオデーの前後に行われました。

全世界のロータリアンは、今回の募金キャンペーンだけでなく、ロータリーがポリオ撲滅活動を始めた1985年から現在までに、総額10億ドル以上を寄付してきました。1988年、世界保健機関(WHO)、ユニセフ、米国疾病対策センターが、世界ポリオ撲滅推進計画(GPEI)の主導団体として、ロータリーの取り組みに加わりました。

また、最近この取り組みを大きく後押ししているゲイツ財団は、2007年にポリオ撲滅を目的としてロータリーに1億ドルの補助金を授与し、さらに2009年にこの額を3億5,500万ドルに引き上げました。ゲイツ財団からのこの補助金に当て、ロータリーは、2012年6月30日までに2億ドルを独自に募金してポリオ撲滅に寄付することを約束しました。

乏しいインフラ、遠隔地や紛争地域での予防接種、撲滅活動に対する文化的な誤解など、撲滅への課題は現在も多く、ポリオウイルスが根強く残る国々では、すべての子どもに経口ポリオワクチンを投与するために、莫大な労働力とリソースが必要とされています。

国際ロータリー・ニュース

## 2012年国際大会

“微笑みの国”タイのバンコクで2012年5月6～9日に開催される2012年R I国際大会に、今すぐご登録ください。

タイ流のおもてなしを楽しみ、世界中から集まるロータリアンと親睦を深めましょう。また、息を呑むような素晴らしい景観やタイ料理など、活気あふれる文化をご体験ください。

世界規模の都市バンコクで、「超我的奉仕」への意気込みを新たにしましょう。



次回《2月3日》の卓話予定  
テーマ「世界経済の展望と日本」

経済評論家 高橋 洋一 様  
（紹介者 田口健太郎 会員）